

2024年2月14日

各 位

会社名 クリアル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 横田大造  
(コード番号: 2998 東証グロース)  
問合せ先 取締役副社長 経営企画部長 金子 好宏  
(TEL. 03-6264-2561)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月15日の決算発表時に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2024年3月期 通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,000	百万円 3,250	百万円 770	百万円 720	百万円 480	円 銭 83.75
今回修正予想(B)	19,700	3,400	950	910	580	99.29
増減額(B-A)	△6,300	150	180	190	100	
増減率(%)	△24.2	4.6	23.4	26.4	20.8	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	16,436	2,206	547	496	336	65.98

#### 2. 修正の理由

(売上高、売上総利益)

当初計画設定時は、機関投資家が組成する不動産ファンドに対する複数物件一括売却（バルク売却）を前提に事業計画を設定しておりました。今期に入り主に外資系の不動産ファンドの活動が総じて低調となったことから、売却計画を見直し、不動産ファンド向けバルク売却ではなく個別に投資家を探索し売却する方針と致しました。その結果、CREALサービスの利益率が大幅に良化し、売上高は未達であるものの、当社の最重要視するKPIである通期の売上総利益が当初計画の水準に到達する蓋然性が高まる状況となりました。当社と致しましては、このような事業環境下、計画設定時の売上達成のために急ぎ物件を売却することは株主利益に繋がるものではないと考え、より良い条件での売却を目的として、今期売却予定であった物件を継続的な成長のために来期の在庫として確保することとし、その結果、売上高予想につき当初計画を下回る19,700百万円に修正いたしました。

(営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益)

当社のクラウドファンディングプラットフォームCREALを支える重要なKPIである投資家登録数伸長のためには、継続的な広告宣伝費支出が必要となります。今期、会員獲得のための各種業務提携が奏功した結果、効率的な投資家獲得に成功し、広告宣伝費が当初計画より大きく抑制されたことを主要因として、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも2023年5月15日発表の予想を上回る水準に通期連結業績予想を修正することといたしました。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以上